

神奈川県知事 殿

横浜・石巻文化芸術交流プログラム実行委員会
実行委員長 山野真悟新しい公共支援事業による支援の申請について
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

新しい公共支援事業について、以下のとおり支援を申請する。

1. 支援申請者情報(該当する□にチェック、以下同様)

(1) NPO等

(複数のNPO等が協議体の構成員の場合、本事業の主担当者となるNPO等について記載)

団体の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 特定非営利活動法人	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人	<input type="checkbox"/> 学校法人
	<input type="checkbox"/> 地縁組織	<input type="checkbox"/> 協同組合	<input type="checkbox"/> その他	(※具体的に記入)
	<input type="checkbox"/> 任意団体 (法人格なし)			
団体・組織名	特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター			
主たる事務所の所在地	横浜市中区日ノ出町2-158			
本件の担当者氏名	上野正也			
電話番号	045(261)5467			
メールアドレス	ueno@koganecho.net			
ホームページ	www.koganecho.net			
団体設立年月日	西暦	2009	年	3月24日
法人設立登記年月日	西暦	2009	年	4月1日
活動目的	横浜市中区初黄地区におけるアートによるまちづくりの推進と安全・安心なまちの実現			
主たる活動範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村内	横浜市	中区	初音町、黄金町、日ノ出町
	<input type="checkbox"/> 複数都道府県内	(※具体的に記入)	<input type="checkbox"/> 全国	<input type="checkbox"/> 海外
会員数(社員総数)	127名			
事務局体制	有給常勤 4名 有給非常勤 6名 無給常勤及び無給非常勤 117名			
収入総額	直近の事業年度	140	百万円	(西暦 2010年4月～2011年3月)

(2) 都道府県・市区町村

市区町村等名	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村 (※具体的に記入)	<input type="checkbox"/> 都道府県 (※具体的に記入)
担当者部局名	横浜市文化観光局創造都市推進部創造都市推進課	
本申請の担当者名	仲原 正治	
電話番号	045(671)4310	
メールアドレス	ma00-nakahara@city.yokohama.jp	

(3) 協議体

構成員	NPO等(上記(1)以外)の名称	横浜・石巻文化芸術交流プログラム実行委員会
	市区町村等(市町村名及び部局名)	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村 横浜市文化観光局 <input type="checkbox"/> 都道府県
	その他の団体・組織等の名称	横浜市芸術文化財団、神奈川大学ほか6大学
主たる事務所の所在地	横浜市中区日ノ出町2-158	
本件の担当者氏名	上野正也	
電話番号	045-261-5467	
メールアドレス	ueno@koganecho.net	

- 代表者が定められていること。
- 実施要領第5の2の(5)の④のウの事項を定めた協議体の規約等が作成されていること。(当該規約等を添付すること)
- 規約その他の規定を定めるところにより、一の手続きにつき複数の者が関与する等、事務手続きに係る不正を未然に防止する仕組みとなっており、かつその執行体制が整備されていること。

2. 支援を申請するモデル事業情報
別紙を参照。

3. 支援対象者としての要件等の確認(自己申告)

当該モデル事業は、下記の事項に該当することを申告する。

- 地域の諸課題の解決に向けた先進的な取組であり、他の地域のモデルになるものであること。
NPO等と都道府県・市区町村は、当該モデル事業の実施にあたり、多様な担い手(NPO等、企業、行政を可能な限り含み、その構成メンバーは5団体以上の参画とする。ただし、東日本大震災対応の事業の場合はこの限りでない。)が協働して、自ら地域の諸課題に当たる仕組みによる会議体(以下「会議体」という。)を立ち上げ、「新しい公共」による取組を進めるものであること。
- 事業成果が一時的なものとならないように、当該モデル事業終了後も上記の会議体を活用した取組を継続させる予定であること。

なお、当該モデル事業は、 下記に該当する。 / 下記に該当しない。

・応募した事業案件の目的・計画に沿って参加・活動する関係NPO等の活動基盤整備、寄附募集、融資利用などの人材、情報、資金、仕組み面の取組の強化等、NPO等に対する支援を主な目的の一つに含むものであること。

4. 必要とする支援額

支援額(千円)	10,000
内訳	(1)交流拠点の活動に係る経費 (内訳:人件費3600千円、旅費140千円、消耗品費300千円、備品購入費420千円) (2)拠点整備・運営経費(内訳:整備費1100千円、賃借料3420千円、水光熱費360千円) (3)活動広報・成果報告に係る経費(内訳:通信運搬費260千円、印刷製本費400千円) 合計10000千円(支援額の必要な時期)2011.10~4100千円、2012.4~5900千円

5. 情報開示の状況(標準開示フォーマットによる情報開示の状況及び予定)

※ 関連するNPO等(NPO等が複数の場合、本事業の中心的なNPO等及び助成を受ける予定のNPO等)について記載

- 既に開示済み(URL)
- 今後開示予定 (2011年9月頃開示予定)

6. 財務報告の状況

※ 関連するNPO等(NPO等が複数の場合、本事業の中心的なNPO等及び助成を受ける予定のNPO等)について記載

- 理解しやすい財務報告であることを申告する。(自己申告)(URL)
- 今後、財務報告を改善する予定 (2011年8月頃まで)

7. 都道府県による情報開示及び運営委員会の評価への協力等

今後、以下の事項を誠実に実行することとする。

- ア 実施要領第4の8に基づく報告、自己評価及び運営委員会による第三者評価への協力
- イ 実施要領第4の13の(2)に基づく検査への協力
- ウ 実施要領第5の7の(2)に基づく調査への協力

8. 添付書類

- (1) 協議体が申請する場合、協議体の規約等
- (2) その他参考となる書類

支援を申請するモデル事業
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

モデル事業名	横浜・石巻文化芸術交流プログラム		
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input checked="" type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 (該当するものにチェック)		
事業実施主体名	横浜・石巻文化芸術交流プログラム実行委員会		
事業概要	<p>本事業は、横浜市と石巻市において、創造的な活動によるまちの再生を目指し、双方に拠点を設けることで、アーティストや建築家、クリエイターなどの交流促進を図るものである。その相互補完的な交流が、被災地復興への一助になるとともに様々な情報やノウハウが流通し共有化が促進されることを効果として求めている。</p>		
事業内容	<p>横浜市では、新たな都市の魅力づくりとして、また、地域の課題解決に向けた取組として2004年から創造都市政策を掲げ、創造的な活動によるまちづくりを実践してきた。</p> <p>その取組の中でも、歴史的な建造物をリノベーションし、アーティストやクリエイターの拠点として歴史ある都市景観の維持を推進してきたとともに、関内・関外地区の空きビル対策として、横浜市芸術文化振興財団と協働し、芸術不動産事業（空きビルのオーナーとアートNPO等が賃貸契約し、拠点利用を行う事業）を行い、官民のパートナーシップ構築による中心市街地の新しい活性化手法を展開してきた。</p> <p>また、中区の初黄・日ノ出町地区においては、違法風俗店街として負の遺産を背負うまちの再生事業を目指し、特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンターにアートイベントの実施や文化芸術スタジオ等の管理運営を委任することでNPOとの協働による創造事業の推進を行ってきた。</p> <p>そのような背景によって培われたNPO等との協働による創造事業の推進ノウハウを基に、被災地である石巻市と創造的な交流を行い、人・情報の流通を促進し、まちの再生を横浜と共に実践していくプログラムを提案する。</p> <p>実施体制としては、横浜のアートNPOである黄金町エリアマネジメントセンターのアートディレクターを実行委員長とし、建築家や都市デザイナー、ランドスケープアーキテクト、メディア研究者等に加え、石巻市の担当課長や創造的な活動の担い手（学校の美術教員）を含め両市におけるまちづくりに関わる様々な分野をまとめ組織化することで、横断的な活動を目指す。そして、実行委員会の事務局を黄金町エリアマネジメントセンターとし、経費の管理とスケジュール管理等を行う。</p> <p>主なスケジュールとしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①8月～9月：石巻市内に活動拠点を設置する（中心市街地における空きビル等の活用） ②9月～10月：フィールドリサーチ、交流プログラムの検討 ③11月～：交流プログラムの実施ー横浜からアーティスト等の派遣と石巻市からアーティスト等の受け入れ ④11月～：③に合わせてワークショップの実施 ⑤2月・3月：総括と次年度に向けた取組の設定 ⑥：2年が経過したのち、拠点運営が独自で可能かどうか判断し、可能な場合は、石巻市内の創造活動の担い手が継続的に運営していくことを想定。 <p>最終的には地域の創造活動の担い手が地域の課題解決を図ることを目指し、一方でアーティストや情報等の流通経路が確保されることで、本事業が創造的な都市間交流を促進する起点となることを効果として期待している。</p>		
マルチステークホルダー（会議体）の体制及び取組予定	横浜市、横浜芸術文化振興財団、特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター、神奈川大学、横浜国立大学、横浜市立大学、関東学院大学、東海大学、京都精華大学		
支援額／全体事業費	10,000	千円	/ 12,132 千円
事業期間	西暦 2011 年 10 月 ～ 2013 年 3 月頃まで		